

令和5年9月11日

小学校6年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立豊川小学校長 丹野 靖彦

### 令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

新秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年4月18日（火）に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が本年7月に北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも8月に公表されました。

本調査は、学習指導要領の定着状況の把握、すなわち児童が学習内容をどの程度理解しているかを把握することとともに、調査結果の分析から児童への指導の充実や学習状況の改善等を図ることを目的としています。苫小牧市は、市全体の平均正答数及び平均正答率を公表することとしておりますが、各学校の平均正答数及び平均正答率の公表については、本調査の目的と整合が図られないこと、学校の序列化を回避することが困難であることなどの理由から、行っておりません。

これを踏まえて、本校の結果と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

#### 記

#### 1 調査の概要

##### (1) 実施日

令和5年4月18日（火）

##### (2) 調査対象

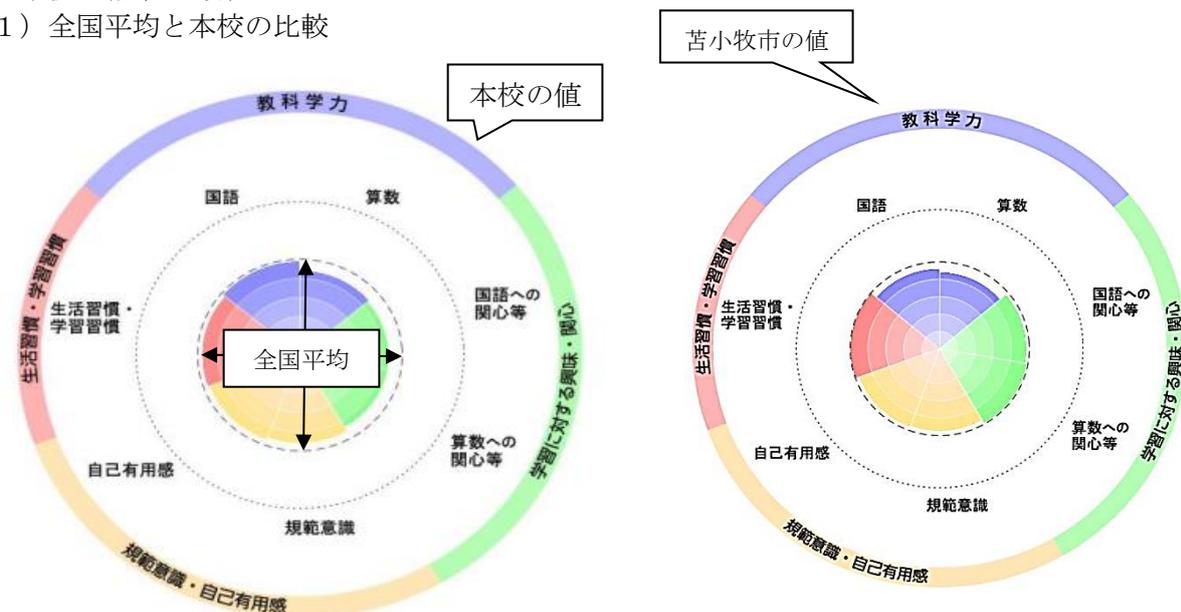
小学校第6学年（市内全小学校で実施）

##### (3) 調査内容等

- ① 教科に関する調査は、国語、算数の2教科が出題されました。
- ② 生活習慣、学習環境等に関する児童質問紙調査が実施されました。
- ③ 学校に対して、指導方法や教育条件の整備等に関する質問紙調査が実施されました。

#### 2 本校の結果と考察

##### (1) 全国平均と本校の比較



## (2) 国語科

- ・国語においては、平均正答率が全国平均をやや下回っている。
- ・内容別にみると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」において全国平均を上回っているが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」において課題が見られる。
- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」等の設問では、全国平均を上回っている。
- ・「漢字を文中で正しく使う」「文章の種類とその特徴を理解する」等の設問において、全国平均を下回っている。
- ・無回答数が、多くの問題で全国より上回っている。

## (3) 算数科

- ・算数においては、平均正答率が全国平均を下回っている。
- ・内容別にみると、全ての領域で全国平均を下回っている。
- ・「伴って変わる二つの数量が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる」「正三角形の意味や性質について理解する」「(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える」等の設問で全国平均と同等だった。
- ・ほぼ全ての問題で全国平均を下回っており、「台形の意味や性質について理解する」「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する」「百分率で表された割合について理解する」「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する」の設問において、特に課題が見られる。
- ・無回答数が多く、ほとんどの問題で無回答率が全国平均を上回っている。

## (4) 児童質問紙

### 学校生活

- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。」の質問では、肯定的回答が全国平均を上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」の質問では、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回っている。
- ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の質問では、肯定的意見が全国平均を上回り、「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。」の質問では、肯定的意見が全国平均を下回っている。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」や「困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」の質問では、肯定的回答が全国平均を下回っている。

### 家庭生活

- ・「普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の質問では、土日も含めて1時間以上学習している児童の割合は全国平均とほぼ同等になっている一方、1時間未満と回答した児童が全国平均を大きく上回っている。
- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」では、「全くしない」と回答した児童が全国平均を大きく上回っている。

## 3 学校の今後の取組について

- ◎国語科中心の取組～①文章構成、説明の工夫、資料の読み取りの指導 ②言語事項の習熟や反復指導
- ◎算数科中心の取組～①身に付けさせる資質、能力を明確にし、焦点化した授業 ②学習の振り返り時間の確保 ③割合や文章題の題意を読み取るための視覚化の工夫
- ◎各教科における取組～①学習方法や内容の自己選択や決定 ②理由や資料など根拠をもとに考えをまとめる指導
- ◎その他の取組～①タブレット端末をはじめとしたICT機器の効果的な活用 ②読書機会の確保